

山江村議会だより
Maruoka

No.86

こんにちは あかちゃん



【特集】
昨年を上回る令和3年度決算！

写真の説明

そのだ りこ

園田 莉子ちゃん 令和4年1月13日生

莉子ちゃんのかわいい笑顔に毎日癒されています。よく食べてよく飲んでよく寝るとってもお利口さんな莉子ちゃんです。元気で優しい子に育ってね。

目次

- | | |
|---------------|------|
| ○特集「令和3年度決算」 | P2～3 |
| ○一般質問 | P3～8 |
| ○議会定例会・臨時会 | P9 |
| ○編集後記「だんだんなあ」 | P10 |

令和4年10月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

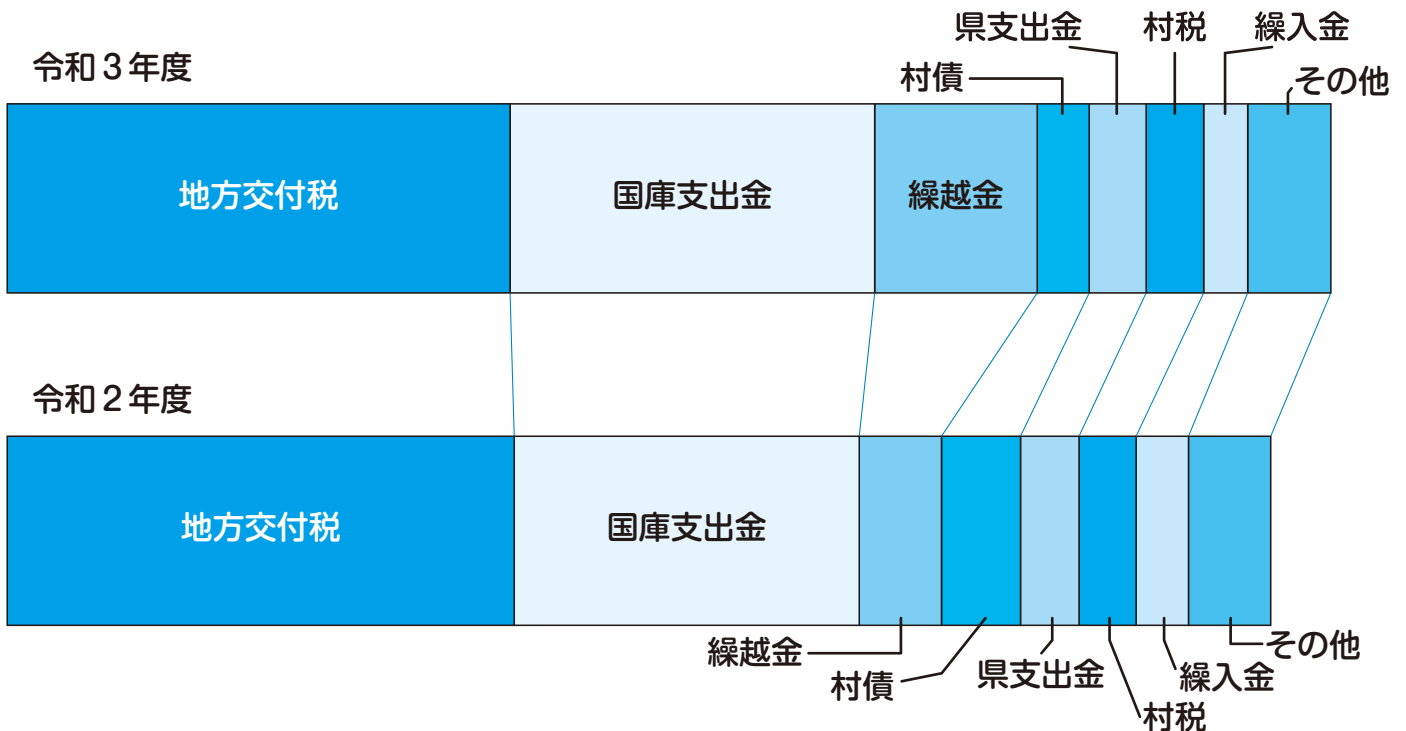
熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話 ☎23-3401

【特集】

令和3年度決算が認定！

令和4年9月7日から13日まで、山江村議会9月定例会が開催され、その中で令和3年度一般会計及び特別会計決算が認定となり、昨年度を上回る決算となりました。昨年度決算との比較をしてみました。

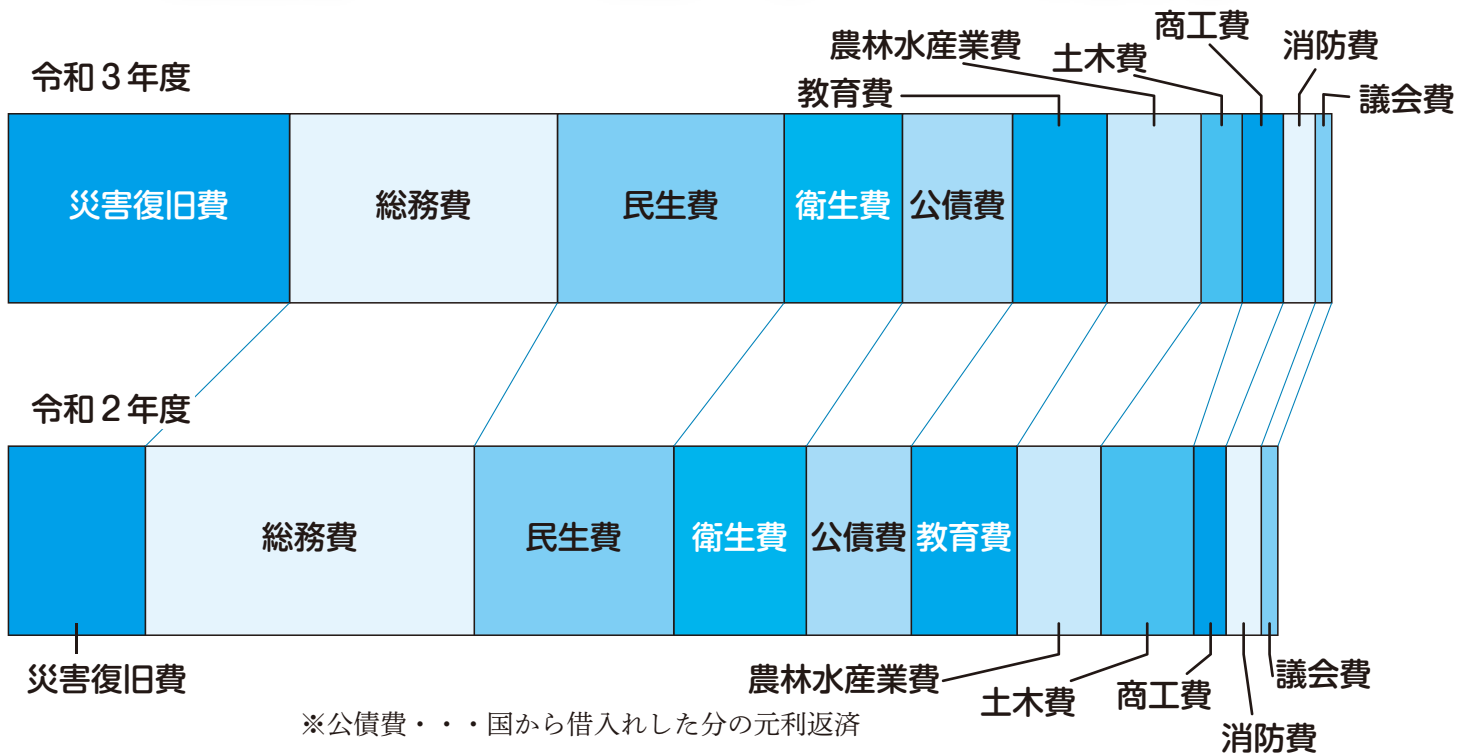
歳入 51億8,763万円



昨年度の歳入が49億5,191万円でしたので、2億3,572万円の増となりました。増額の主なものとして、繰越金が3億1,469万円の増（昨年度比197.6%）、国庫支出金が7,686万円の増（昨年度比105.7%）でした。主な名称の説明については以下の通りです。

項目	説明	令和3年度決算額
地方交付税	それぞれの市町村の財政格差を小さくするため、国から支給されるもの。使い道は自由。	19億7,069万円
国庫支出金 県支出金	義務教育や道路整備など特定の費用の一部として、国や県から支給されるもの。使い道が決まっている。	(国)14億2,904万円 (県)2億2,307万円
村債	国からの借入金。	2億380万円
繰入金	基金（いわゆる預金）等の一部取り崩し、繰り入れるもの。	1億7,241万円

歳出 44億9,818万円



昨年度の歳出が43億1,493万円でしたので、1億8,325万円の増となりました。増額の主なものとして、災害復旧費が4億9,017万円の増（昨年度比105.3%）、民生費が9,244万円の増（昨年度比113.6%）でした。令和2年7月豪雨災害の復旧復興、新型コロナウイルス感染症対策の影響により伸びているのがわかります。歳入から歳出を差し引くと6億8,945万円（形式収支額といいます。）となりまして、それから翌年度へ繰り越すべき財源（繰越明許等）が3,223万円ありましたので、それを差し引いた金額6億5,722万円（実質収支といいます。）が令和3年度決算となりました。尚、特別会計の収支については以下の通りです。

会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保険事業	4億7,071万円	4億4,023万円	3,048万円
簡易水道事業	1億7,209万円	1億7,038万円	171万円 <small>(繰越明許10万円のため、実質は161万円)</small>
農業集落排水事業	1億5,027万円	1億4,399万円	628万円
介護保険事業	4億9,824万円	4億6,003万円	3,821万円
後期高齢者医療事業	3,888万円	3,741万円	147万円
ケーブルテレビ事業	6,500万円	5,683万円	817万円



赤坂 修 議員



山田地区の集落営農について

山田地区の集落営農の方針は？

問 担い手の高齢化が進む中で山田地区の集落営農法人の設立計画はどのようなになっているのか。

答 産業振興課長

平成29年度設立された「万江の里」をモデルとした法人設立を5年後をめどに計画されていたが、コロナ禍や令和2年7月豪雨の影響で現時点での計画はない。しかし、担い手や後継者不足の解消、農地集積や作業効率化などを図る上で組織設立の重要性は十分に認識している。新年度予算でも村長の査定を受けながら計上し、狭い範囲にはなるが、堰ごとに農家からやってみたいという声が上がればモデル地区として支援をしていきたい。

問

水稲の作業受委託について高齢化が進む中で山田地区集落営農組織の設立は早急な対応が必要であると考

える。法人設立は、設立準備に長期間かかる上、業者間の合意形成も困難と考えるので機械利用組合や個人で受託されている方を一本化し、作業受託型の任意団体の設立の考えとオペレーターとして若手農業者育成支援の考えは。

答 産業振興課長

作業受委託の現状は十分に理解しているが、山田地区では堰ごとの組織を考え支援していく。若手オペレーターの育成は、スマート農業、IT化農業を進めながらドローン操縦免許取得、農地の維持管理に必要な重機操作免許取得等の支援を考えている。

答 村長

今現在は、人・農地プランという大きな動きを作りながら、担い手後継者の育成、農地の集約化を図り担い手に貸していくという方向で動いている。山田地区の法人設立の必要性は変わらないが、農協方式の組合法人ではなく、株式会社的な責任の所在を明確にした



法人設立も経営的な感覚で農地を管理できるのではないかと考えている。併せて

検討していく。ただし、役場が農業をするわけではないので農家の方々、また、地域の方々の理解とこのことに対する積極的な取り組みがないと農地を守ってはいけないと言うことでしっかりと話をしていきたい。

※他に「老人クラブについて」質した。



平成29年6月24日設立総会の様子



森田 俊介 議員



・ 山江村職員のサービスについて

・ (株)やまへの運営状況と物産館の計画・方針について



ペースト工場

職員の退職や休職について！

問 山江村職員のサービスについて、職員の退職や休職について

答 総務課長

5年間で、14名であり、村内出身退職は6名、村外は8名。

問

1. 長時間の残業による労働条件の不満、2. 人事異動による職務環境の変化、3. 職場の人間関係・業務の引き継ぎ、4. パワーハラスメントのあるかないかの報告を受けているが。

答 村長

職員の退職については、各個人考えの中での人生を選択されたと思っれている。ハラスメントがあったりとかは、若者が辞めるからとおかしいとのことは、私はお考えしていない。自分一人を大切にしたい。自分一人と思っっている。

問

正規採用、職員採用の方針、民間企業の職務経験者の採用、受験資格の年齢制限の引き上げの検討は。

答 村長

コロナ感染症、令和2年豪雨災害で100時間を超える残業で、職員の体調を心配していた補充もやっていた。新規採用も積まれていく。民間採用も積極的に視野に入るよう検討する。

(株)やまへの運営状況は！

問

(株)やまへの運営状況と物産館の方針について、労働基準監督署の定期調査、時間外の未払いが判明したとのことだが。

答 副村長

労働基準監督署の調査については、本年5月10日に実施され、労働時間に関する関係書類の確認が行われ、その結果、昨年12月12日、2名分の12月18日万圓を支給した。

問

管理職からの告発で未払いが発覚したとの事だが。

答 村長

労働基準監督署の調査については、通知なく来館されたら、抜き打ちで実施された。

2. 議会に報告をし、私自身に確認をした。虚偽はなく、労務士と相談し適正に処理した。今後もしつかりとした会社経営をしていく。

ボーリングの現状は

問

水源確保のためのボーリング発掘した現状は。

答 企画調整課主幹

当初の計画では、新規の井戸水を調理場や飲料水、水風呂施設全般を補う計画であったが、水質検査の結果、マンガンが多く、飲用に適さない。

問

工事が約850万円かかったのでは。また今度は別に発掘する計画か。

問

1,215トン、内ペーストは1,215トン計画している。

答 企画調整課主幹

ペーストの製作の技術者の検討は。

答 副村長

今の現状で行く。ペーストを作成すること一緒に、研究も新規事業、新開発を設ける方針である。

答 企画調整課主幹

11月に試験掘る検討をしている。場所は未定。別の場所で再度試験掘る予定。

問

下の段水源はどのようになっているか。

答 企画調整課主幹

11月に試験掘る状況を見ながら対応したい。

栗の買い付けとペースト計画は！

問

栗の買い付けとペーストの計画は今年度の栗の買い付けは、ペーストの生産計画は。

答 企画調整課主幹

ペーストの製作の技術者の検討は。

問

ペーストの製作の技術者の検討は。

答 副村長

今の現状で行く。ペーストを作成すること一緒に、研究も新規事業、新開発を設ける方針である。



横谷 巡 議員

・村長の政治姿勢について
・循環型森林整備と
林業振興について
・「子ども図書館」の整備について



生活暮らしに対する政治姿勢について

問

災害の復旧復興、コロナ禍、原油、物価高と村民生活・地域経済がたいへん厳しいなか、どのような行政政治姿勢で臨まれるのか。

答 村長

災害からの復旧復興を始め、いろいろな課題が村民生活を襲い、その対策に努めてきた。引き続き国と県と連携しながら、政治は現場という姿勢で対策の充実に努めて参りたい。

問

公共工事請負契約の法令順守について

災害復旧に係る村営住宅整備工事の安全祈願祭が、公共工事請負契約のましま、執り行われた。5千万円以上の工事契約は議会の議決を要し、議決された日が、本契約となる。否決される生活心情を考えると、被災者の法的案件ではあるが、行政では法令に基づくことが基本であり、議会軽視とも受け止められる。今後の対応、指導徹底の考えは。

答 村長

議員がおっしゃるとおりである。当然、仮契約が本契約に移ってからのでないといききたい。

循環型森林整備等の林業振興について

問

本村の森林面積は1万510ヘクタールで、総面積の約90%を占め、国土保全、水源涵養、木材生産などの多目的機能に大きな役割を果たしている。そこで、人工林と天然林の割合、収穫期を迎えた伐採適齢期の面積の状況はどうか。

答 産業振興課長

人工林56%、天然林44%、伐採適齢期は杉40年、檜45年以上で、合計4千36ヘクタール人工林の76・8%となっている。

問

収穫期の木材を伐採した後の植栽、下刈等への支援策の状況は。

答 産業振興課長

伐採後、再造林を促すことを目的として、補助制度に関する補正予算を今定例会に計上しているので、積極的に活用いただきたい。

問

環境保全を守る植林と育てていく環境の持続が課題であるが、皆伐と間伐を進める森林管理ビジョンについての考えは。

答 産業振興課長

意向調査を実施し、森林の樹種、樹齢、伐木などをデータ化し、皆伐や間伐を進める森林管理ビジョンをつくりたい。

問

森林環境税による循環型森林整備のモデル地区をつくり、林業振興を図る考えはないか。

答 産業振興課長

森林環境税を活用するのは十分可能であるので、私有林所有者に理解と協力をいただきたい。新年度に進めていきたい。

問

子供図書館の整備について

人吉球磨にない近未来的な子ども図書館を整備し、広域から交流人口を呼び込み、村の発展施策の一つとして、地域活性化の拠点とする考えはないか。

答 教育課長

既設の図書室「絵本の森」は一定数の利用者があり、子どもから保護者、祖父母世代まで楽しむことができるような本の選定、図書室の充実に努めており、現時点では、子ども図書館の整備については、考えていない。



村民生活の支援と森林の整備・環境保全対策を！



立道 徹 議員

仮設住宅について



仮設住居者の 今後は！

問

令和5年4月以降、新城内団地完成後、退去される入居者がおられるが、残された入居者の方はどうなるのか。

答 健康福祉課長

15世帯26名の方が残られるが、それぞれ希望される生活再建に向けて動き出されている。行政もご希望に添う支援を行っている。生活再建のパターンとして、
①道路・水道等の復旧を待ち、元の自宅での生活再建。
②新しく住まいを建築、または、既存の民間住宅を購入し、生活再建。
③既存村営住宅での生活再建。入居期間は、令和5年8月21日までが期限となっているので、これに向けて支援を行っている。

問

復旧を待って、元の自宅に帰って生活再建の方は、入居期間（令和5年8月21日まで）までに、復旧ができなかった場合は。

答 健康福祉課長

県・国に相談をさせて頂く。（入居期間延長を）

問

今後、林田団地・寺の下住宅も老朽化しており、村が譲り受けて利活用できないのか。

答 健康福祉課長

今後、様々な利活用の可能性を持っていると考えているが、現在は、仮設住宅入居者全員の生活再建に向けた支援を優先していることで、入居者の生活再建が完了するめどが立ち、心の安心が約束された時点で、この利活用についても本格的な具体案を示すことができ

る。仮設入居者の方々が全員無事に生活再建され、退去される時点で今後の利活用について方向性を示す。

※他に「山江村立万江小学校存続について」「城南永シ切線改良工事（通学路）について」質した。



中央グランドに立つ仮設住宅



中村 龍喜 議員

「農業施策について」



今後の農業振興策は

問

ウクライナ情勢、コロナ禍によるエネルギー原材料価格が高騰している。農業現場では米価の下落、子牛価格の低迷、担い手不足など農業の維持が懸念される。新たな農業振興策の取り組みを考えておられるか。

答 産業振興課長

本村では、地方創生臨時交付金を活用して米価価格の下落や、燃料高騰など経費上昇の影響を受けた水稲生産農家を支援する目的で10アール当たり1万円を支援する山江村水稲生産継続支援金の事業を実施し、また家畜用飼料代の高騰の影響を受ける畜産農家を支援する目的で親牛1頭当たり2万円、子牛1頭当たり1万円を支援する山江村畜産経営継続支援金事業を実

施した。国の支援策などを活用しながら、農業収入の安定化を目指して、農業振興につなげて行きたいと考えている。

問

7月の災害後に土砂の堆積が行われている万江地区、特に濁毛地区、山田地区の塚ノ下の農地の有効活用について、農振地除外をして造成等により宅地化、分譲予定地、工場等に利用してはと考えるがどのように考えているか。

答 産業振興課長

万江地区の濁毛地区の状況は、一部箇所は県が借り上げて、災害復旧に係る用地として利用されている。農地の所有者の方々から様々なご意見があればお受けするが、現時点で村が、宅地にしたりとか企業誘



山田別府塚下土砂置場

立ての事業が完了することになってはいるが、事業完了後、3年間は転用することができない。その後の活用については、所有者の方々から相談があれば、産業振興課までお尋ねしていただければと思っている。

致をどうこうする用地に活用するということは民有地でもあり考えていない。災害復旧が終わるのが最優先だというふうに考えている。山田地区の塚ノ下については、土砂の搬入先として活用させてもらっている。水田を所有者の方が形状変更の申請を農業委員会に提出され、令和5年度に埋め



万江淡島濁毛地区

令和4年第6回 山江村議会定例会

令和4年9月7日から13日までの7日間、令和4年第6回山江村議会定例会が開催され、同意2件、条例の制定及び改正が3件、事務委託1件、決算認定7件、契約締結2件、補正予算7件が可決されました。その中において、同意2件については、山江村監査委員に豊永知満氏、山江村教育委員に横山理恵氏に決定しました。質疑においては、「公共工事請負契約の締結について」の中で横谷議員より、議会の議決案件について、今後は執行部と議会双方において、法令の遵守に努めるべきではとの質疑に対して、村長より事務処理も含めしっかりと議会への説明等を行うとの答弁でありました。その他の質疑については以下のとおりです。

質 疑

令和4年度一般会計補正予算（第4号）

答 弁

久保山議員

住環境整備委託、買い物支援委託についての説明を

企画調整課主幹

本城の森の伐採費、濃厚接触者等への買い物支援

本田議員

農業振興費及び林業振興費の負担金補助の説明を

産業振興課長

機材購入による補助。再造林の推進補助

令和4年第7回 山江村議会臨時会

令和4年第7回山江村議会臨時会が10月4日に開催され、熊本県後期高齢者医療連合議会議員の選挙について、内山村長が再選され、また山田小学校屋根の改修工事に伴う公共工事請負契約の締結、令和4年度一般会計補正予算（第5号）の2件が可決されました。

令和4年第8回 山江村議会臨時会

令和4年第8回山江村臨時会が10月31日に開催され、令和4年度一般会計補正予算（第6号）が可決されました。補正の主なものとして、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国からの交付金）で内容は以下のとおりです。

1. 山江村省エネ家電等生活支援事業

- 省エネ家電製品等の導入や買い替えにより、家庭におけるエネルギー費用負担の軽減を図るもの。対象製品は、エアコン、冷蔵庫、テレビ、照明器具、薪ストーブ
- で対象経費の3分の1を補助するものです。（補助の上限は5万円）

2. やまえ生活支援券

- 物価高騰する食糧費の支援をするもので、1人当たり5,000円分の商品券を配布するものです。今回配布する商品券は、村内事業所のみではなく、人吉市内の地場スーパー※（イスマ、サンロード）でも使用可となっております。
- ※使用できる店舗が決まっています。

3. 学生等就学支援給付金事業

- 食料品等物価高騰による学生等の生活の負担を軽減するため、山江村に住所があるまたは、保護者が山江村に住所がある大学生及び専門学生等に1人当たり30,000円を支援するものです。

4. 高齢者世帯等物価高騰に伴う生活支援交付金事業

- 国からの非課税世帯給付金を受給できていない、70歳以上の独居及び高齢者のみの世帯に、1人当たり10,000円を交付するものです。

議員活動の一コマ



総務文教常任委員会



令和4年9月29日、総務文教常任委員で熊本県美里町へ行政視察を行いました。美里町では、高齢者の認知予防と教育分野との交流事業として、e-スポーツ事業を取り入れていました。この日は、村執行部からも職員が同行し、事業内容の説明を受けました。



産業厚生常任委員会

令和4年10月6日、産業厚生常任委員で宮崎県綾町へ行政視察を行いました。綾町では、消費者に信頼される農業を目的とした、自然生態系農業を推進していました。また、照葉樹林の保全や活用についての説明もありました。



だんだんなあ

先日、尾崎公民館のところで猿の軍団に遭遇しました。4、50頭いたでしょうか。ほとんどが若い猿や母親みたいで赤ちゃんがおなかにしがみついたり背中に乗っていたり移動中でした。来年は大きくなって農林産物を荒らすのかと考えたときにゾッとしました。

大型で猛烈な台風14号、九州南部の最大風速55m、最大瞬間風速75mとのニュース、「備えあれば憂いなし」台風養生は大変でした。屋根も吹っ飛ばばいと思っておりましたが、稲の倒伏、栗の落下等ありましたが大きな被害もなかったようで安心するやら・・・。

オミクロン株対応ワクチン、5回目のワクチン接種が始まるとのこと。何回打たんまんどでしょうか。ウィズコロナに向けての全数届出の見直し。近隣市町村の感染状況の報道がなくなりました。やっぱり、近隣の状況がわからないと不安になります。

令和4年もあと二ヶ月あまり、復旧復興が進む中、早いようですが、来年が希望あふれる年になりますようお願いいたします。

(文責 赤坂 修)

委員長／赤坂 修
委員／久保山 直巳
中本 龍喜
村田 龍喜

【山江村議会広報編集特別委員会】